



豊かな自然、美しい景観の高岩山(あきる野百景)

平成22年度 施政方針

平成22年市議会第1回定例会で、臼井孝市長が発した施政方針の内容をお知らせします(原文を基に掲載)。平成22年度は、「環境都市あきる野」を目指す施策を展開していきます。

私は、就任以来、市民と協働のまちづくりを基本として、「環境都市あきる野」の実現に向け、行政力、地域力及び地域経済力の強化に、懸命に取り組んでまいりました。特に、7つの防災・安心地域委員会、3つの活性化戦略委員会、郷土の恵みの森構想などの取

伝統・文化など、すばらしい地域資源が数多くあります。これらの地域資源を活かしながら、郷土愛や自然愛を育み、さまざまな場所で自主的な活動が行われ、誰もがあきる野市に住みたい、ずっと住み続けたいと思える郷土づくりに、これからも全力で取り組んでまいります。

6つのKがキーワード

- 協働・郷土・子育て・高齢・環境・教育 -

国や東京都の財源を 最大限に活用

さて、国においては政権交代の中、国内経済は、長引く不況と企業収益の悪化などにより、依然として厳しい状況にあります。本市においても、市税収入が大幅に落ち込む一方で、社会保障関係経費が高い水準で推移するなど、厳しい行財政運営が続いてお

りませんが、まちづくりを前進させるため、国の経済対策を活用して生活環境関連事業を中心に、補正予算を計上するとともに、新年度予算では、国や東京都の財源を最大限に活用し、各分野の優先順位を勘案するなどとして、バランスの取れた予算編成ができたものと考えております。私は、「環境都市あきる野」を目指すさまざまな施策を展開する中で、本年を

環境都市の 実現に向けて

市の森林資源の有効活用や森林を再生・活性化することは、地球温暖化防止の観点からも重要な課題であります。郷土の恵みの森構想につきましても、地域との協働作業により、策定の運びとなりました。

この構想を具現化する組織として、新たに「環境の森推進室」を設置いたします。事業推進については、市民や企業などからの寄付にも対応できる郷土の恵み

3月1日号の主な記事

- 第2号の「接玉箱」... 3面
- 第3号の「笑い」... 4面
- 第4号の「お笑い」... 5面
- 第5号の「歯科診療」... 8面

3月の 市税の納期

市・都民税 随時期
国民健康保険税 随時期

安全・安心への 取り組み

各地区の防災・安心地域委員会の活動については、交付金制度を新たに導入し、各委員会からの事業計画や活動提案に応えてまいります。

昨年、合併以来、初めて実施した地域懇談会については、市民の意向を市政に反映できる有効な方法であります。

将来の 安定財源のための 産業政策

活力溢れるまちづくりに、財政基盤の安定と雇用の拡大を図る必要があります。旧秋川高校跡地の土地



養沢地区の植樹

商業の活性化では、秋川駅北口地区と五日市地区の活性化戦略委員会を中心に、地域の特性を活かした事業展開をしてまいります。特に、秋川駅北口地区では、秋留野広場を賑わいのある広場とするための研究を行い、五日市地区では、五日市憲法草案など、地域資源を活用した魅力ある商店街づくりに取り組めます。武蔵五日市駅前の市有地の活用については、秋川流域を視野に、観光拠点づくりの調査研究を進めてまいります。

2面につづく